

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成21年6月18日(2009.6.18)

【公開番号】特開2007-289419(P2007-289419A)  
【公開日】平成19年11月8日(2007.11.8)  
【年通号数】公開・登録公報2007-043  
【出願番号】特願2006-121002(P2006-121002)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月22日(2009.4.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の制御を実行する制御装置に、識別情報が記憶された不正監視用の識別手段を設けた遊技機において、

非接触状態で前記識別情報を読み取る情報読取手段と、

所定のタイミングで前記識別情報の読み取りを開始するよう前記情報読取手段を制御する開始制御手段と、

前記開始制御が実行されてから予め定められた期間内に、前記情報読取手段が前記識別情報を読み取ったか否かを判定する判定手段と、

当該判定手段により前記識別情報を読み取っていないと判定された場合に、異常処理を実行する異常処理実行手段と  
を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記識別手段として、前記制御装置に設けられた第 1 識別手段と、当該制御装置とは別の制御装置、又は遊技媒体の付与に関連した媒体付与関連装置に設けられた第 2 識別手段とを備え、

前記情報読取手段は、前記第 1 識別手段及び前記第 2 識別手段の両方から識別情報を読み取り、

前記判定手段は、前記情報読取手段が前記第 1 識別手段及び前記第 2 識別手段の両方から識別情報を読み取ったか否かを判定し、

前記異常処理実行手段は、前記判定手段により両方の識別情報を読み取っていないと判定された場合に、前記異常処理を実行することを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記第 1 識別手段に記憶された第 1 識別情報と前記第 2 識別手段に記憶された第 2 識別情報とを、同一の特定情報を有するように設定し、

前記判定手段は、前記特定情報を有する 2 つの識別情報を前記情報読取手段が読み取ったか否かを判定し、

前記異常処理実行手段は、前記判定手段により前記特定情報を有する 2 つの識別情報を読み取っていないと判定された場合に、前記異常処理を実行することを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。

**【請求項 4】**

報知手段を制御する報知制御装置を、前記識別手段を有する制御装置とは別に備え、当該報知制御装置は、前記異常処理実行手段を備えるとともに、少なくとも前記判定手段を備え、

前記異常処理実行手段は、前記異常処理として異常報知を実行するよう前記報知手段を制御するものであることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 に記載の遊技機。

**【請求項 5】**

遊技球が流下する遊技領域と、当該遊技領域に向けて遊技球を発射する遊技球発射装置と、当該遊技球発射装置による遊技球の発射を実行させるべく操作される発射操作手段とを備え、

前記情報読取手段は、前記識別情報を呼び出す呼出波を出力する呼出波出力手段と、前記識別手段からの応答波を入力する応答波入力手段とを備えるとともに、

前記開始制御手段は、前記発射操作手段が操作されている間は前記開始制御を行わないようにする開始規制手段を備えたことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 に記載の遊技機。

**【請求項 6】**

遊技球が流下する遊技領域と、当該遊技領域に設けられ、流下する遊技球が入球可能な賞球用入球部と、前記遊技領域に向けて遊技球を発射する遊技球発射装置と、当該遊技球発射装置による遊技球の発射を実行させるべく操作される発射操作手段と、前記賞球用入球部への入球に基づいて所定数の遊技球を払い出す払出装置と、を備え、

前記情報読取手段は、前記識別情報を呼び出す呼出波を出力する呼出波出力手段と、前記識別手段からの応答波を入力する応答波入力手段とを備えるとともに、

前記開始制御手段は、前記払出装置により遊技球が払い出されている間は前記開始制御を行わないようにする開始規制手段を備えたことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 に記載の遊技機。

**【請求項 7】**

絵柄を可変表示する絵柄表示装置と、前記絵柄の可変表示を開始させるべく操作される始動操作手段と、前記絵柄の可変表示を停止させるべく操作される停止操作手段とを備え、

前記情報読取手段は、前記識別情報を呼び出す呼出波を出力する呼出波出力手段と、前記識別手段からの応答波を入力する応答波入力手段とを備えるとともに、

前記開始制御手段は、前記始動操作手段が操作されてから前記絵柄の可変表示が終了するまでは前記開始制御を行わないようにする開始規制手段を備えたことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 に記載の遊技機。

**【請求項 8】**

絵柄を可変表示する絵柄表示装置と、前記絵柄の可変表示を開始させるべく操作される始動操作手段と、前記絵柄の可変表示を停止させるべく操作される停止操作手段と、前記停止操作手段の操作後における停止絵柄に応じて遊技媒体を払い出す払出装置と、を備え、

前記情報読取手段は、前記識別情報を呼び出す呼出波を出力する呼出波出力手段と、前記識別手段からの応答波を入力する応答波入力手段とを備えるとともに、

前記開始制御手段は、前記払出装置により遊技媒体が払い出されている間は前記開始制御を行わないようにする開始規制手段を備えたことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 に記載の遊技機。

**【請求項 9】**

遊技媒体の付与に関連した媒体付与関連装置に、識別情報が記憶された不正監視用の識別手段を設けた遊技機であって、

非接触状態で前記識別情報を読み取る情報読取手段と、

所定のタイミングで前記識別情報の読み取りを開始するよう前記情報読取手段を制御する開始制御手段と、

前記開始制御が実行されてから予め定められた期間内に、前記情報読取手段が前記識別情報を読み取ったか否かを判定する判定手段と、

当該判定手段により前記識別情報を読み取っていないと判定された場合に、異常処理を実行する異常処理実行手段と  
を備えたことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】遊技機

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００１】

本発明は、遊技機に関するものである。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

本発明は、識別情報が記憶された不正監視用の識別手段を備えた遊技機において、識別情報の読み取りに基づいた不正行為の確認を良好に行うことができる遊技機を提供することを目的とするものである。